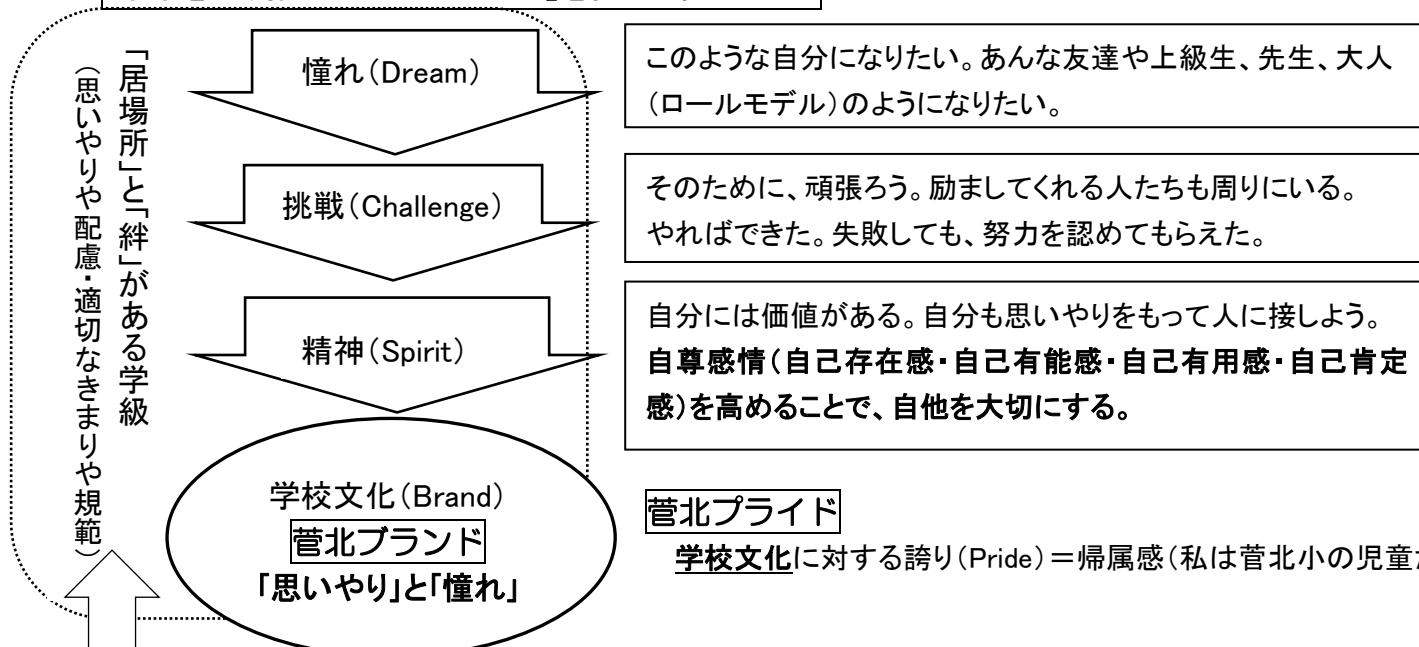


平成30年度 学校経営方針

大阪市立菅北小学校
校長 竹原 章雄

学校教育目標

未来を切り拓くための「生きる力」を育てる。



- 多様性－違い(個性・特性・能力)を活かし合う。
- 共助－教え合い、伝え合い、助け合う。
- 包摂－一気を配り、思いやり、排除しない。

めざす子ども像

「自ら学ぶ子」「助け合う子」「健康でたくましく生きる子」

- 確かな学力 (自ら学ぶ子)
 - ・ 社会構成主義的学力観に基づく、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)の追究
 - ・ 言語活動の充実
- 豊かな心 (助け合う子)
 - ・ 違いを認め合い、互いを高め合う仲間づくり
 - ・ 社会生活を営む上での規律の重視(当たり前のことと当たり前にする)
 - ・ ピアサポート等の実践と協同学習等の授業を通した人間関係づくり
- 健やかな体 (健康でたくましく生きる子)
 - ・ 基本的生活習慣の確立(早寝 早起き 朝ごはん)
 - ・ 健康の保持増進
 - ・ 運動の習慣化
- 社会に開かれた教育課程 (地域・外部人材との協働)
 - ・ 学校・家庭・地域・外部人材(チーム菅北)による児童育成
 - ・ 互恵関係に基づく、双方向に開かれた学校づくり

本校では、学校教育目標を「**未来を切り拓くための『生きる力』を育てる**」と定めています。そして、学校教育を通じて育成する「**目指す子ども像**」を、「**自ら学ぶ子**」「**助け合う子**」「**健康でたくましく生きる子**」としています。そして、この学校教育目標や目指す子ども像に迫るために、まずは子どもたち一人一人が安心して自分を表現することのできる「**居場所づくり**」と、すべての子どもが仲間とともに活躍できる「**絆づくり**」を進めます。これを土台としながら、子どもたちには「**憧れ**」を持たせたいと考えています。このような自分になりたい。あんな友達や上級生、先生、大人のようになりたいという憧れです。そして、そのような自分になるために、がんばる子どもを育てたいと考えます。そのためには、励ましてくれる仲間がいて、やればできるという成功体験を積ませていきたいと思います。また、成功せず、失敗したとしても、実現に向けた努力が認めてもらえるという体験を大切にします。

このような取組を通して、自分は人から認められている（自己存在感）、自分にはものごとを最後までやり遂げる力がある（自己有能感）、自分は役に立っている（自己有用感）、自分にはよいところがある（自己肯定感）と感じる自尊感情を高めることで、誇りをもって生きていけるようにしたいと考えます。そして、このような子どもたちの姿が、菅北小学校の学校文化（菅北ブランド）となるまでに高め、それに対して誇りをもつ子どもたち（菅北プライド）を育てたいと考えています。

具体的に取り組むことは、大きく3つです。

1つめに、**確かな学力の育成**です。

ここで言う学力とは、テストで良い点を取ることだけを指しているのではありません。人工知能やコンピューター、ネットの発達・進化により、暗記したことを正しく再生することは、それほど意味をなさなくなる時代がやってきます。将来が不透明な時代であるからこそ、幅広い視野が必要になってきます。そのためには、多様な他者との学び合いがとても大切になってきます。世の中は、多様な人々で構成されています。自分とは違う考え方や立場を知り、自分のものの見方や考え方を広げていくことこそ、これから社会を生き抜くための学力となります。

また、確かな学力を育てるためには、言葉を豊かに使えるようになることが大切です。言葉、とりわけ熟語をたくさん知っているほど、ものごとを深くとらえ、論理的に考えることができます。そのためには、話し合い活動や読書活動に積極的に取り組みます。

2つ目に**豊かな心の育成**です。子どもたちは、それぞれが違う家庭から集まっています。家庭の文化もそれぞれです。また、クラスには、外国にルーツのある子どもや障がいのある子どもも共に学んでいます。そのような多様性の中で、「**違いを認め合い、互いを高め合う仲間づくり**」を進めていきます。

次に社会生活を営む上での規律を重視します。当たり前のことを当たり前にすることです。きちんとあいさつをすることや時間を守ることなど、社会に出た時に通用する子どもを育てます。

また、本校では、1年生から6年生までによる縦割り班を編成し、活動しています。上級生が下級生を思いやり、下級生はそのような上級生に憧れる。そのような学校文化を作っています。

3つめは、**健やかな体の育成**です。早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちなど、基本的な生活習慣は、落ち着いて学習できるための前提条件です。早寝・早起きし、朝ごはんもしっかり食べている子どもは、学力が高いということも明らかになっています。基本的生活習慣の育成は、学校だけではできないことなので、ぜひともご家庭のご協力もよろしくお願ひいたします。また、健康の保持増進や運動の習慣化にも取り組んでいきます。

最後に、**地域との協働**です。子どもは地域の宝です。子どもが健やかに成長することは、私たち大人の喜びです。子どもたちの健全育成には、学校だけでは限界があります。ぜひとも、ご家庭や地域のご協力をお願ひいたします。